



鈴鹿シルバーケア豊壽園

所属のスタッフの方に

右記①～③の質問をお聞きました。

① 所属事業所ウリ

② 今後の目標

③ 休日の過ごし方／特技



鈴鹿居宅介護支援センター
上級リーダー
若林 達治

① 当事業所では、ご利用者とご家族の想いを大切にし、地域の医療・介護資源との連携を活かした質の高いケアマネジメントを提供しています。経験豊富なケアマネジャーが迅速かつ丁寧に対応し、住み慣れた地域で安心した生活が続けられるようご支援させていただきます。

② ご利用者一人ひとりの尊厳と自己決定を尊重し、多職種連携と地域資源の活用を通じて、自立支援と住み慣れた地域での生活継続を支援します。地域から信頼される居宅介護支援事業所を目指します。

③ オーディオに凝っているので、休日は音楽を聴いて過ごしていることが多いですね。また、コーヒーも好きなので、抽出温度を変えながら、味の変化を楽しんでいます。



鈴鹿居宅介護支援センター
ブロックリーダー
川口 直子

① 鈴鹿市と津市のふたつの市にまたがる広域エリアに対応しており、それぞれの地域の特性や社会資源を幅広く把握しています。制度の違いにも対応しながら、ご利用者一人ひとりの状況やニーズに応じた柔軟で臨機応変な支援、迅速な対応を行っています。どんなご相談内容もしっかり伺い、受け止めることを大切にしています。

② 「もっともっと鈴鹿シルバーケア豊壽園を知ってもらいたい!!」鈴鹿シルバーケア豊壽園に配属になって3年目ですが、この想いを胸に、変わらず日々のお仕事に励んでいます。地域に根差した身近で安心して相談できる場所として、より多くの方々に知っていただき、困ったときにまずは相談してみようと思っていただける存在となれるように取り組んでいます。

③ ゆっくりとその時の気分でお料理をして、美味しいごはんとお酒のある時間を過ごしています。/タイマーで時間を測らなくてもパスタを絶妙なゆで加減に仕上げることができます。



鈴鹿第1通所介護センター
ブロックリーダー
新谷 奈緒美

① 鈴鹿の第1通所介護センターは津・鈴鹿と広範囲のご利用者にご利用いただいています。五感にアプローチする「ゆたリハ」を実施しています。リラックスできる音楽を流しながらリハビリやマッサージを行い、リハビリ後には血糖値上昇を抑え、コレステロール値を下げるなどの様々な効果が期待できるお酢を使用した飲み物を提供しています。様々なニーズに対応できるように職員と連携し、ご利用者一人ひとりに寄り添ったサービスを提供しています。

② 同建物内のグループホームと交流し、お互いに助け合える環境づくりに取り組んでいます。幅広い地域の方にご利用いただけるように職員と連携を図り、沢山の人の知ってもらえるように頑張っています。様々なニーズに対応できるように知識、技術の向上を目指し一人ひとりに寄り添った支援を心がけていきます。

③ 子どもと遊んだり、美味しいご飯を食べに行ったりしています。／細かい作業が得意です。今度ステンドグラスに挑戦できたらと思います。



鈴鹿認知症対応型グループホーム
ブロックリーダー
山川 吉幸

① グループホームは地域密着型サービスであり、ご利用者に施設で生活して頂きながら、地域との関りの機会も大切にしていく事業所となります。ご利用者と散歩しながら、近隣のパン屋さんまで歩いて買い物に行き、好きなものをご自身で選んで購入していただいたことで、ADLの維持や日々の生活の中で刺激を感じていただけるよう努めています。フィリピン出身の職員も在籍しており、フィリピンの言葉や環境を教わることもできるのも魅力の1つです。

② ご利用者の生活や、事業所の雰囲気も併せて、鈴鹿シルバーケア豊壽園をもっと盛り上げていきたいです。そのためのきっかけとして、今年度はご利用者の「食」に対する支援に力を入れ、外出支援の実施や、訪問寿司サービスの開催、フィリピン出身の職員によるフィリピン料理の提供するなどイベントを企画したいと考えています。職員は皆、働く知恵も豊富なので、力を合わせて施設を盛り上げていきたいです。鈴鹿シルバーケア豊壽園のInstagramもぜひ、覗いてみて下さい。

③ 休日は1歳の娘と一緒に散歩や買い物に行き、可愛いキャラクターのおもちゃが付いたお菓子等を買って、娘に嫌われないようにしています。最近プライベートでも家族との「食」の、時間を大切にしていますが、少し贅肉が付いてきたのが悩みの一つです。／あまり人見知りをしない性格なので、初対面の方とも話が出来るのは、長所だと思っています。ご利用者や娘との散歩の時間で地域の方ともよく会話を楽しんでいます。

sensin
洗心福祉会

110

2026.7.1

洗心

地域の安心・安全の場所に



p2. 地域とともに歩む、豊壽園のこれから
p3. もしもに備え、体験で学ぶ
p4. 運動会ごっこ楽しかったよ！

p5. 未来につなぐ安心のケア
— AI見守りシステム「HitomeQ（ひとめく）ケアサポート」導入
p6. 職員の成長が、ご利用者の安心へ
p7. 外国人技能実習生の受入れ
p8. 今、輝いているあなたにクリック



洗心福祉会ホームページ

発行 社会福祉法人 洗心福祉会 広報委員会

〒514-0831 三重県津市本町 26 番 13 号 | 059-222-7700 | <http://www.sensin.or.jp>



洗心福祉会Instagram

地域とともに歩む、 豊壽園のこれから

鈴鹿シルバーケア豊壽園

施設長 海津 孝慈

平素より、社会福祉法人洗心福祉会の事業運営につきまして、皆様からの温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。日々の支援が穏やかに続けられているのも、ご利用者、ご家族、そして地域の皆様のお力添えあってのことと、改めて深く感謝しております。

鈴鹿シルバーケア豊壽園は、平成23年11月に居宅介護支援・訪問看護・訪問介護の3事業から歩みを始めました。その後、障がい福祉サービスや認知症対応型グループホーム、第1・第2通所介護センターの開設など、地域の皆様の声に寄り添いながら事業を広げてまいりました。

現在は、居宅介護支援センター・訪問介護・グループホーム・第1通所介護センターの4事業を中心に、地域に根ざした支援を続けております。

私はこの4月に津特別養護老人ホームより異動し、鈴鹿第1通所介護センターの管理者として着任いたしました。2000年に介護の世界に飛び込んで以来、介護老人保健施設、訪問介護、通所介護、特別養護老人ホームなど、様々な現場で多くの方々と出会い、支えられながら今日まで歩んでまいりました。立場が変わっても、どの現場でも変わらず胸にあったのは「ご利用者の笑顔を守りたい」という想いです。その想いを、ここ鈴鹿の地でも大切にしていきたいと考えております。



鈴鹿市東磯山にある当施設は、海がそばに広がり、心地よい風が吹き抜ける場所にあり、災害への備えも欠かしていません。建物は津波避難ビルとして認定されており、地域の皆様の“いざという時の拠り所”としての役割も担っています。昨年度からは、防災に特化した「SUZUKAカフェ」を開催し、地域の皆様と一緒に防災について学び合う場をつくってまいりました。今年度も6月21日(日)に開催をさせていただきます。これからも地域の皆様とともに「守り合う地域づくり」を進めていきたいと考えております。

職員一人ひとりが、ご利用者の思いに寄り添い、互いを支え合いながら働く姿

は、私にとって何よりの誇りです。若手職員の柔らかな発想と、経験豊かな職員の確かな知識が自然と混ざり合い、温かいチームが形作られています。ご利用者の笑顔や「ありがとう」の言葉に励まされながら、私たちも日々成長しております。

これからも、鈴鹿シルバーケア豊壽園が地域の皆様にとって「ここがあって良かった」と思っていたただける存在であり続けられるよう、職員一同、心を込めて支援にあたっております。

結びにあたり、皆様からの変わらぬご支援とご厚情に深く感謝申し上げますとともに、今後とも温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。

もしもに備え、体験で学ぶ

6月21日、鈴鹿シルバーケア豊壽園で行われた地域交流イベント「スズカフェ 2026」が開催されました。本イベントは、防災意識を高めながら地域の絆を深めることを目的に、今年も多彩なプログラムが提供され、子どもから高齢の方まで多世代にわたる参加者の笑顔が見られました。

津波避難ビル見学会では、当園が鈴鹿市で唯一の津波避難ビルに登録されている福祉施設であることを踏まえ、実際の避難経路を体験しながら災害時の行動の重要性を確認する貴重な機会となりました。「もしもの時に備えが重要」と、多くの参加者の方から感想をいただきました。また、地震体験車では震度の違いによる揺れを体感し、参加者の方は真剣な表情で防災への理解を深められていました。

会場にはさまざまなキッチンカーが集まり、ハンバーガーや関西風たこ焼き、唐揚げ、クレープ、フルーツ飴、焼きそばなど、家族連れを中心に多くの方が思い思いの味を楽しまれていました。さらに、当法人の「小森山珈琲」によるコーヒー、健康スムージーの販売も行われ、さらに管理栄養士による缶ぱんアレンジ試食会や便秘予防や免疫力向上に役立つメニューが好評を集めていました。洗心福祉会の障がい者授産施設「工房楽々あやま」による手づくりクッキー販売も人気で、素材の風味を生かしたやさしい味わいが来場者の心を和ませました。

洗心福祉会は今後も、地域の安心と共生を目指して活動が続けてまいります。スズカフェを通じて生まれた交流の輪は、次のイベントへとつながり、さらなる地域福祉の発展を後押ししていくことでしょう。



運動会ごっこ楽しかったよ！

第二はなこま保育園

5月20日（水）に、はなこま保育園・第二はなこま保育園の3、4、5歳児が参加して運動会ごっこを行いました。当日は、朝から曇り空で天候が心配されましたが、運動会ごっこが始まる頃には晴れ間が見え、子どもたちの元気な声がグラウンドに響き渡りました。

まずは、みんなの「がんばるぞ!」という思いを込めたエールから始まりました。その後、かけっこ、玉入れ、リレーとどの競技も頑張る姿を見せてくれました。

かけっこでは、名前を呼ばれると「はい!」と元気に返事をし、ゴール目指して最後まで一生懸命走りました。玉入れに挑戦したのは3、4歳児の子どもたちです。お友だちと一緒に夢中になりながら玉を投げていました。5歳児は、リレーを行いました。4チームに分かれ、それぞれのチームのバトンをしっかりと握って次のお友だちへつなぎます。同じチームの仲間を応援する姿など、年長児らしい頼もしさを感じる場面がたくさんありました。

また、小さいお友だちや地域総合ケアセンターのおじいちゃん・おばあちゃんも応援に駆けつけてくださり、「がんばれ!」と温かい応援をしていただきました。たくさんの人に見守られて、子どもたちはいつもより張り切っている様子でした。閉会式では、保育士手作りのメダルを一人ひとりにプレゼントしました。首にかけてもらおうと嬉しそうにメダルを見つめたり、友だち同士見せ合ったりする姿が見られました。はなこま保育園のお友だちやおじいちゃん・おばあちゃんとの交流を楽しむことが出来た素敵な一日となりました。



未来につなぐ安心のケア

ー AI 見守りシステム「HitomeQ（ひとめく）ケアサポート」導入

津市高茶屋の地域総合ケアセンター内にある津介護老人福祉施設シルバーケア豊寿園では、今春より、コニカミノルタが提供する介護施設向け AI 見守りシステム「HitomeQ（ひとめく）ケアサポート」を導入しています。本システムは、ご利用者の安全確保と職員の業務負担軽減を目的とした次世代型の見守り支援システムです。

HitomeQ ケアサポートは、AI と行動分析センサーを活用し、ご利用者の状態を 24 時間体制で見守ります。転倒や離床などの異常を検知すると、職員のスマートフォンへ映像とともに即時通知が送られるため、迅速かつ確な対応が可能になります。また、異常発生時には前後1分間の映像が自動保存されるため、事故の原因分析や再発防止策の検討にも役立ちます。

限られた人員の中でご利用者の安全を守るためには、効率的かつ質の高い見守り体制が欠かせません。AI による見守り機能を活用することで、必要な場面で迅速に対応できるだけでなく、夜間巡視の負担軽減や業務効率化にもつながっています。

さらに、システムに蓄積されたデータはご利用者ごとの生活リズムや行動傾向の把握に活用され、より個別性の高いケアプランの作成や職員教育にも役立てられています。多職種が情報を共有しながら連携することで、ご利用者一人ひとりに寄り添ったケアの実現を目指しています。

令和 7 年度には「ふたみ介護老人保健施設シルバーケア豊寿園」が先行導入しており、その実績を踏まえた運用を進めています。これからも最新技術を積極的に取り入れながら、ご利用者が安心して暮らせる環境づくりと、より質の高い介護サービスの提供に努めてまいります。



職員の成長が、ご利用者の安心へ

「職員が成長することで、ご利用者への関わり方が変わる。」

その積み重ねが、地域の皆さまからの信頼につながっていく――。洗心福祉会は職員育成に重点を置き、法人内研修の充実を進めています。

6月、準職員・パート職員を対象に、「組織理解」と「チーム連携」をテーマとした研修を初めて実施しました。雇用形態に関わらず、法人理念や組織の方向性を共有し、職員同士の連携強化を図ることを目的として開催したものです。研修では、法人の基本方針や事業内容、組織として大切にしている考え方について説明を行うとともに、グループワークを通じて職員間の交流も深めました。参加者からは、「法人全体の動きが分かりやすかった」「他事業所の職員と話す機会になった」といった声が聞かれました。

また、リーダー級職員を対象とした評価者研修、管理職・リーダー職の任命研修も実施しました。評価者研修では、人事評価の基本的な考え方や面談時の留意点などについて学び、任命研修では、法人理念や組織運営、マネジメント、人材育成に関する内容を確認しました。新たな役職を担う職員にとって、自身の役割や責任について改めて考える機会となりました。

今年度、洗心福祉会では職員育成に関する研修体系を新たに整備し、法人内研修のさらなる充実を進めています。ご利用者への支援を支えているのは、現場で働く職員一人ひとりの専門性と実践力であり、その向上を目的として、体系的な人材育成に取り組んでいます。

今後も、接遇、労務管理、リーダーシップ、リスクマネジメント、メンタルヘルス、職場環境づくりなど、役職や経験年数に応じた研修を計画的に実施していきます。さらに、AI・DXの活用など時代の変化に対応したテーマも取り入れながら、全職員向け接遇・マナー研修や新人職員研修を含め、一年間を通じた継続的な学びの機会を整備していきます。



外国人技能実習生の受入れ

津介護老人福祉施設シルバーケア豊寿園および津介護老人保健施設シルバーケア豊寿園では、6月より新たにミャンマーから4名の技能実習生を受け入れました。これまでの甲賀・伊賀・伊勢志摩の8名に加え、総勢12名となりました。

近年、介護分野では人材確保が大きな課題となるなか、外国人材の受け入れは、介護サービスの安定的な提供だけでなく、異なる文化や価値観に触れる貴重な機会にもなっています。実習生の皆さんは、日本の介護技術や知識を学びながら、ご利用者一人ひとりに寄り添う介護の実践を通じて成長していくことを目指しています。

受け入れにあたり、当施設では安心して実習に取り組める環境づくりを進めるとともに、日本での生活や仕事に早く慣れてもらえるよう職員一同でサポートしています。また、ご利用者やご家族との交流を通じて、言葉や文化の違いを超えた信頼関係を築かれることも期待しています。

介護は、人と人とのつながりを大切にする仕事です。実習生の皆さんが持つ向上心や笑顔は、ご利用者や職員にとっても良い刺激となり、施設全体の活力につながるものと考えています。

今後も洗心福祉会は、多様な人材が活躍できる環境づくりを推進し、地域の皆様に安心してご利用いただける質の高い介護サービスの提供に努めてまいります。

